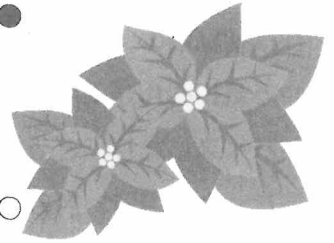




3年 学年だより

第8号

名古屋市立振甫中学校 令和4年12月1日



音楽会を終えて

11月14日（月）に行われた音楽会では、どのクラスも練習の成果を大いに発揮してくれました。指揮者、伴奏者、パートリーダーを中心として、どのように練習をするか、どうすればよりよい合唱となるかをクラスの仲間と共に考える姿が見られました。本番だけでなく、本番に向けた練習の姿も含めて、一生懸命さやクラスの絆が感じられる素晴らしい音楽会となりました。

皆さんが書いた「音楽会を終えて」の作文を紹介します。

練習の最初の頃は、緊張というよりも、いやだなと思っていたけれど、パートリーダーの人たちの声掛けなどによって足を引っ張ることはできないなと思い、必死に練習していた。みんなで歌を歌うことがこんなにも楽しいのだと改めて実感した。結果は3位だけど、とても感動したし、思い出に残った音楽会だったので、やれてよかったです。（1組）

中学生になって初めての音楽会。今まで先輩がどのように行っていたかを知らなくて、不安な気持ちでいっぱいでした。練習はどのようにすればいいのか、パートリーダーとしてどうやって声掛けをすればよいのかなど不安がたくさんありましたが、同じクラスのパートリーダーや指揮者、伴奏者と協力して素敵な音楽会を創り上げることができて本当によかったです。（1組）

毎日のように練習が続いていく中で、僕は二つの大切なことに気付いた。一つは、「笑顔になること」だ。僕たちのクラスでは、歌っていない時はみんな笑顔だが、歌っている時はどうもみんなの表情が暗かった。そこで、先生が笑顔になって歌ってみようと提案したとき、とても歌いやすかった。2つ目は「純粋に楽しむ」ということだ。音を楽しむからこそその音楽会であって、歌の上手、下手は全く問題ではない。自分が心地よいと思える音をクラスの仲間と作っていくことが何よりも大切だということに気付いた。（2組）

どの学年の合唱も、とても上手で驚きました。でも、やっぱり3年生の合唱には感動しました。言葉一つ一つに感情がこもっていて、一人一人が全力で歌っている姿を見て、歌詞が直接心に入ってきたように感じて、思わず涙がでました。本番では、みんながいつも以上に合唱を楽しんでいるように見えて、うれしくなりました。（2組）

放課後の練習が始まり、実感が湧き、焦りなどの感情が出てきて、意欲的に取り組めるようになった。自分の声が届いてほしいと思い、家でもたくさん歌を聴いて、ソプラノを聴きながらアルトを歌えるようになった。当日、1・2年生の歌声がすごくきれいで3年生として大丈夫かなと思っていたが、団結力を発揮し「さすが」と言ってもらえるような歌を届けることができた。音楽会が最初で最後なのは寂しいけれど、一回でもこの感動を味わえたことは、すごく良い思い出になったと思いたい。（3組）

令和4年度3年

12 月行事予定

45 : 45分帯

50 : 50分帯

[illegible]